

5 月度 <b>例会</b> <b>個人</b> 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:町田 修 SL:金子 清 竹内 幹雄、藤田勝啓 津田廣一(記) ガイド:平岡 竜石
		報告日	06/11		
山 域	富士山	山行日	14 年 05 月 11 日(日)		
山 名	富士山				
山行目的	ピスコ トレーニング		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図: 富士山・須走

- 5/11 快晴
- 04:00 起床
  - 05:15 富士宮登山口発
  - 05:45 6合目(15分)
  - 06:45 新7合目1本(5分)
  - 07:55 元祖7合目(20分)
  - 09:40 9合目1本(10分)
  - 11:00 富士宮頂上
  - 11:25 剣ヶ峰(10分)
  - 11:40 1本(5分)
  - 12:00 富士宮頂上(5分)
  - 12:45 8合目1本(10分)
  - 14:00 富士宮登山口下山



新 7 合目で 1 本



6 合目でアイゼン装着



本 7 合目 アンザイレン



帰りの車窓より

〈山行報告〉 ピスコ説明会後、富士宮口へ車を走らせる。心配した天気も最高の日になりそうだ。駐車場で、平岡さんが用意してくれたテントの中で小宴会(周囲の事も考え、小声で高山登山の情報を教えてもらう)。早めの就寝。

目覚めると、予想通りの最高の天気。高揚する気持ちを抑えて出発準備。コンビニのお握りも、いつもより旨い。明るくなってきてから、出発。駐車場を離れたところから雪。雪の緩斜面を、キックステップ気味に登っていく。トップ平岡さんは完全なポレポレペース(息は全く上がらない)。30分程で6合目着(例年は雪のない夏道との事)。アイゼン装着しながら1本。アイゼンの歯がサクサクと効いて、歩きやすい。気持ちよく歩いている内に、新7合目へ。全員が快調だ! 荷も軽い風も弱く、傾斜が徐々に増してくるが、一向に気にならない。本(元祖)7合目で、ピスコ本番の氷河歩きの練習の為に、アンザイレンする。アンザイレンでの歩行は、ザイルはたるみがない極力引っ張った状態で、且つ、テンションをかけない様に、同じスピードで歩くとの事。結構、難しい。真っ直ぐならいいが、急斜面をつづら折りに曲がる時には、どうしてもテンションがかかったり、たるんでしまったりする。(アンザイレンも、慣れとの事だが...) 少し、長く歩いて9合目。行動食も食べて、元気つけ。ここまで来れば、頂上へは行けるだろうと、急傾斜を頑張る。少し、きつくなってきた感じ。1ピッチを頑張って、富士宮頂上へ。まだ、余裕があるので、一気に剣ヶ峰を目指す。さすがに、風も強く吹いていて、寒く感じる。手前の最後の急傾斜を登り切ったら、剣ヶ峰だ! 初の雪富士登頂、ヤッター! 硬く握手して、記念写真

をパチリ。寒いので、少し下って風を避けたところで1本。もう一度、富士宮頂上の神社で登頂のお礼参りを。頂上を後にしては、一気に降って、8合目。ザイルを外す。水分補給も済ませて、急傾斜をしばらくは、慎重に降る。7合目ぐらいになると緩斜面となり、各自のペースで降る。予定よりも早く、登山口へ無事、下山。ピスコの為にトレーニング登山だけでなく、剣ヶ峰まで登れる最高の登山となった。

〈リーダー所見〉 ペルーピスコ遠征前に我々デンソーメンバーの力量把握とコミュニケーション登山を、ガイドの平岡さんから是非富士山でやりたいとの強い申し出があり遠征装備点検後、富士の宮口から山頂TRYする。氷河歩きを想定したロープワーク(コンティニアスビレイ)でトレーニングする。ハーネス装着からロープワークまで細かく指導を受けながら平岡さんの人となりを好感をもって体感する。本番への弾みがついた山行となる。



富士山剣ヶ峰にて

藤田・竹内・金子・町田・津田・平岡

確認  
(リーダー)

山岳部  
14.06.10  
町田

作成  
(報告者)  
津田  
14.6.10